

# 平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

### 道府県・政令市名【 石川県小松市 】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	小松市立松東中学校 1～3年生
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( 総合的な学習の時間 )
4 目標 (ねらい)	目標を持つことの重要性、夢を実現するための努力の大切さについて考える
5 取組内容	<p>○講演会 講師紹介 車いすバスケットボール 宮島 徹也 氏 講演「 夢を持つことで人は変わる 」 質疑等</p>   <p>宮島さん講演会の様子</p>

○パラリンピアンとの交流（車いすバスケット模擬体験）  
 ゴールリング周辺に椅子を準備して車いすの目線からシュートする  
 体育館入り口側3ゴール 周辺に椅子5脚ずつ設置し各学年に振り分けシュート  
 体験する



椅子に座った状態でのシュート模擬体験

○松東中学校生徒代表挨拶  
 ○松東中学校校長挨拶

<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピック・パラリンピックについての授業を行い、オリンピック・パラリンピックについて知ることが出来た。車いすバスケットボールについても約半数の生徒が競技について知っていた。        宮島さんの講演会では、事故により自らの体に起きた現実を受け止め、これまでの気持ちの変化や目標に向かって努力する大切さを生徒は感じることができた。        生徒の感想では、「今、自分の体に同じようなことが起こった時にどうなるのだろう」「目標に向かって努力する事大切さを改めて感じた」など、体に障害があるというだけでマイナスなイメージをしてしまうのではなく、前向きに目標に向かって生き生きとされている宮島さんから良い刺激を受けていた。</p>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<p>競技用の車いすの貸し出しがなかったため、体育館のバスケットゴール下にパイプイスを置き座った状態からシュート模擬体験をした。ゲームの要素を取り入れ、各学年で競い合えるようにした。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>競技用車イスでの模擬体験が出来ると競技の難しさや楽しさが実感できると思われる。競技用車イスの貸し出しをどこに問い合わせればよいか明確であると良い。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>事前学習などで取り上げた、スポーツの文化的な役割や意義を体育理論でより深めていきたい。「する」「みる」「支える」「知る」4つの視点から各教科や学校行事などと組み合わせていくことが可能だと考える。</p>